

森からの手紙



熊本の豊かな森林を守り育て、未来に引き継ぐための情報誌

冬は、春を迎えるためにある。

冬の山林は厳しい寒さに見舞われますが、山の仕事は休むことはありません。秋から冬に掛けては枝打ちや間伐の適期でもありますが、春に行う苗木の植え付けに備えるための大事な作業である「地拵え(じごしらえ)」を行う時期にもあたります。この作業、苗木が育つ環境をつくるという、豊かな森林を守り育てる上でとても大切な作業です。昨年4月にスタートした「森と担い手をつなぐ集約化促進事業」も、地拵え(じごしらえ)と同じく、県民みんなの財産である森林を大きく立派に育てていくための重要な取組です。美しい森林を未来へ残していくために、今、あなたができることから始めてみませんか?!



©2010
熊本県くまモン



本格始動!

『森林を見直す!』取組を進める県内8つの
モデル地区(協議会)を集約化専門員が紹介します!

早わかり

「森と担い手をつなぐ集約化促進事業」の概要

【発行】熊本県農林水産部森林局森林整備課 〒862-8570 熊本市中央区水前寺六丁目18番1号 Tel.096-383-1111(代表)

https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_11413.html

熊本県 森の担い手

検索